

学力と同じくらい大切なこと

長い夏休みも終わり、本日から前期の後半が始まりました。9月は、体育祭や新人大会などの大きな行事があります。保護者の皆様には、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

さて、毎朝正門前に立ち、生徒の登校の様子を見ているのですが、気になることがあります。それは、あいさつです。自分からあいさつができる生徒は非常にまれで、あいさつをされてから返す生徒がほとんど、中には黙って通り過ぎる生徒もいます。あいさつが大切な理由は大きく3つあげられます。

1 社会的評価が高くなる

あいさつができる人は、できない人より確実に社会的評価が高くなります。

2 相手からの印象がよくなり、人間関係がよくなる

あいさつをすることは自らの心を開き、相手を認めるということになります。認められた相手も好意的に接するようになります。そして自然に人間関係がよくなります。

3 コミュニケーション能力が育つ

あいさつを続けていると、そこから会話が生まれ、相手とのコミュニケーションのきっかけになり、コミュニケーション能力が育ちます。

生きていく上で、学力と同じくらい大切な能力なのですが、「そんなことあたりまえだ」という意識が、かえてこのことをいい加減にしているような気がします。

親が子供に残せる財産は、何も金品だけではありません。幸せな人生を送るために必要な「考え方や行動」を親から子へ引き継ぐことも立派な財産です。

これからの社会(未来)を担う子供たちが、望ましい社会人としての資質を身に付けられるように学校と家庭、地域が協力していければと考えています。

学校が再始動しました

9月1日には、夏休みが明けて学校が再開することを機に全校集会が開かれました。400名余の全校生徒が体育館に集いましたが、整列が完了する頃には私語も一切なく、生徒一人一人のこれからの学校生活に向けた強い意気込みを感じました。校長先生からは、「情けは人のためならず」と「因果応報」についてのお話がありました。生徒たちは終始素晴らしい態度で集会に臨むことができ、素晴らしいスタートを切ることができました。



親子愛校作業では、大変お世話になりました



9月2日(土)に行われたPTA親子愛校作業には、保護者約130名、生徒約100名の参加があり、グラウンドを中心に除草作業が行われました。おかげさまで、繁茂していたトラック内外の草がすっかり消え、体育祭に向けて運動のできる環境が整いました。

早朝から、そして暑い中の作業でしたが、ご協力ありがとうございました。9日(土)の体育祭が楽しみです。